

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70232	
事業名	観光閑散期の需要創出調査・検討費						
評価担当課	所 属	経)観光・MI 観光・MICE			電話番号	011-211-2376	
施策名	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌の観光は、シーズンリティによる繁閑の差が大きく、閑散期における雪まつり以外のキラーコンテンツが必要とされてきたが、現状では大規模なイベントは開催されていない。 また、コロナ禍を経て、市内の宿泊施設等では、人材離れが進み、コロナから回復するにつれて、再確保の必要性が高まっているが、観光需要の繁閑差も要因の一つとなり、スタッフの継続的な雇用が難しく、観光の基盤産業が不安定になりつつある。					
	事業内容(何を実施し)	観光事業者やイベント企画事業者等が新たに誘致する観光閑散期の誘客創出が期待されるイベント実施に対して補助金を交付する。 プロポーザルにより事業提案を募り、より高い効果が見込まれる提案を採択する。 ※1件あたり上限50,000千円。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	札幌の観光閑散期である11月～翌3月(雪まつり開催期間を除く。)に魅力的な大規模イベントを誘致することで、道外からの誘客を図り、観光需要創出と大きな観光消費の誘発を図る。					
	他都市の状況	他都市においては、同様の事業はあまり見受けられない。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外					
令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人 工		
令和5年度予算額	2,500 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人 工		
令和5年度決算額	4,923 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人 工		
令和6年度予算額	50,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人 工		
指標	アウトプット活動指標1	当該支援を活用したイベント誘致・開催件数			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		—	調査・検討	制度設計	1	1	3
	↓						
	アウトカム成果指標1	当該支援を活用したイベントへ参加者数			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		—	—	—	10000	10000	30000
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	効果的な補助制度とするため、観光閑散期の需要創出に向けた調査・検討を委託により実施。業務報告書や関連事業者などへのヒアリング等を基に制度設計を実施した。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
令和4年度実績		令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	今年度から補助事業を開始したところであり、補助事業の実績等を踏まえ、次年度以降の制度見直しの可否等を検討する						
来年度以降の方向性	今年度の補助事業の実施状況を検証し、次年度以降の制度見直しの可否等を検討する						